

1. 職名・氏名 助教・矢島 直樹2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井県立大学、授与年月 2008年3月

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人急性看護学（2単位）2年次
② 内容・ねらい（自由記述） 手術療法を受ける患者や予期せぬ事態により心身に急激な変化が起こる救急患者に対する看護についての基礎的知識について学習する。合併症を予防し回復過程を歩むために必要な観察やトリアージ、家族看護について学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 写真や映像教材を用い、臨床での実践をイメージしやすいよう工夫した。また知識と演習での看護展開が結びつくよう、教員が経験した事例などを例に挙げて説明し、学生が観察とケアの必要性を理解できるよう指導した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ（2単位）2年次
② 内容・ねらい（自由記述） 対象の個別に即した看護を認識し、計画的に看護を実践、評価するという看護過程を展開するための基本的能力を修得する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 初めて患者を受け持つ学生に対し、関係性が構築できるまで一緒に訪室するなど、スムーズに患者とかわかれるよう介入した。また学生の学習状況や気づきに合わせて臨床での看護の展開例を示し、個別性を考えていけるよう指導した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人急性看護学演習（1単位）3年次
② 内容・ねらい（自由記述） 手術療法を受ける患者が合併症を併発することなく、回復過程を歩むためのケアについて学ぶ。また、救急看護に必要な患者の観察や救命処置について、根拠に基づき実践できる基礎的能力を養う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 写真や映像教材を用い、臨床での実践をイメージしやすいよう工夫した。また知識と演習での看護展開が結びつくよう、教員が経験した事例などを例に挙げて説明し、学生が観察とケアの必要性を理解できるよう指導した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人急性看護学実習（2単位）3年次
② 内容・ねらい（自由記述） 手術療法を受ける患者とその家族や、突然の急病やけがなどで救急外来を受診された患者とその家族に必要な看護を、実際の関りを通じて学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 事前の指導に加え、実際の患者の観察を教員とともに行うことで、知識と実践が結びつき学び

が深まるよう取り組んでいる。また臨床の看護師からも看護計画や実践について指導や助言を受けられるよう配慮し、自ら思考し根拠を持って実習に取り組めるよう促している。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
卒業研究 (3 単位) 4 年次

② 内容・ねらい (自由記述)  
講義や実習経験を踏まえ、医療・健康に関する現象について研究課題を明確にしたうえで、文献検討、観察・調査・実験などの研究方法を用いて実施し、論文を作成する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)  
学生が自身の興味・関心に基づくテーマに基づき、主体的に研究に取り組むよう指導した。結果の分析から論文作成まで学生の理解度に合わせて進め、その際結果の解釈や適切な表現方法について丁寧に指導した。

#### (2)非常勤講師担当科目

①担当科目名 (単位数) 開講学校名

②内容・ねらい (自由記述)

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)

④本学における業務との関連性 (自由記述)

#### (3)その他の教育活動

内容

### 4. 研究業績

#### (1)研究業績の公表

##### ①論文

(タイトル、共著者の有無 (共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名 (号数)、掲載 (受理) 年月日)

##### ②著書

(タイトル、共著者の有無 (共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)

##### ③学会報告等

(タイトル、報告学会 (大会) 名 (開催年月日)、共同報告者の有無 (共同報告の場合は主たる担当箇所))

##### ④その他の公表実績

#### (2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動 (担当報告名、担当学会 (大会) 名 (開催年月日))

学会での役職など (学会名)

学会・分科会の開催運営 (担当学会 (大会) 名 (開催年月日)、開催場所)  
第 39 回日本看護科学学会学術集会 実行委員 (2019/11/30-12/1、石川県)

(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内の）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

## 6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長） （職名、期間）
(2)委員会・チーム活動 （名称、期間） 看護学科 4年次生副担任（2019年度）
(3)学内行事への参加 （行事名、参加日時）
(4)その他、自発的活動など （活動名、活動内容、活動期間）